

第5回全国弓道指導者研修会報告

山田 敏寛（七尾東雲高校），登内 正徳（鶴来高校）

日時：平成29年2月17日（金）～19日（日）

会場：日本武道館研修センター（千葉県勝浦市）

主催：日本武道館・全日本弓道連盟

後援：スポーツ庁

参加者：89名

講師：澤田 欣一 範士八段（愛知県）

桑田 秀子 教士八段（栃木県）

高橋 良子 教士七段（岩手県）

松本代志博 教士七段（福島県）

増淵 敦人 教士七段（栃木県）

高橋 文彦 教士七段（福島県）

【1日目】

○開講式

○講演 『日常を道場にする創意工夫』～武道とともに歩んだ半世紀～

講師：ウィリアム・リード 氏（山梨学院大学 教授）



○中学校武道授業実践例発表



○グループディスカッション



【2日目】

○準備体操，会場設営

○射法八節解説



○目的別研修 (A 学校授業対応, B123 学校部活動, C 初心者) (写真は B3 グループのもの)



○懇親会



【3日目】

- 準備体操，朝稽古
- 目的別研修



- 特別演武（桑田教士，松本教士，澤田範士）



- 会場撤去
- 閉講式

「第5回全国指導者研修会に参加して」

登内 政徳

昨年に続き、今年もこの研修会に参加させていただくことができました。

一日目のグループ研修では部活動指導のあり方や、現在悩んでいることを解決策もふまえて意見交換することができました。県によって、また学校によっても状況はさまざまですが、指導者としての教員のスキルアップや情報の収集がとても大切であることが結論として挙げられました。私も生徒と共に楽しみ成長できる部活動を目指していきたいと改めて思いました。

二日目以降は主に班別研修を行いました。今年は参段での受講であったため研修は道場で受けることができました。昨年二段で参加されていた他県の先生方も一年のうちに昇段を果たし、知った顔が何人もいてとても和やかに研修を受けることができました。班別研修では高橋良子先生，増渕敦人先生にご指導をいただきました。これまで先生方が高校生にどのようなことに心がけて指導を行ってきたのか，講話や射技指導を通して教えていただくことができました。また，増渕先生からは碇の調整方法なども実演を通して教えていただきました。私は今回の研修で大三への受渡しの仕方を変えることができたので，今後の射技の向上や部活動指導に生かしていきたいと思えます。

今回の研修で他県の先生や講師の先生方に多くの刺激をいただくことができました。ありがとうございました。教職員大会や次の研修会で今よりも成長した姿を見せることができるように稽古に励んでいきたいです。

最後になりましたが，今回推薦いただいた石川県弓道連盟にはこの場をお借りして御礼申し上げます。

「更に良縁を深めることができました」

山田 敏寛

本年度も有難いことに、この研修会に参加させていただくことができました。学校関係者の講習会は現在のところ年に2回開催されており、この研修会と夏の名古屋と京都で行われるものです。これまでもいろいろな情報を得ようと、できるだけ参加できる講習会は参加してきました。そのおかげもあってか、高校現場に異動してまだ2年目でしたが、声をかけていただける参加者の方も多くなってきました。いろいろな良縁を今後もつなげていきたいなと更に感じました。

今回も範士の澤田先生をはじめ多くの先生方と気軽にお話をさせていただき、今回の研修会でも多くのものを得て帰ってくることができました。大変幸せなことだと思います。このような研修会に参加できるのも教員という恵まれた立場であるため、ここで得た知識も多くの方に伝えたいと思います。研修の中でも話していただいた、弓道の指導などに関する悩みは完全な解決はなくずっと続く。これは人生も同じで年を取っても常に日々修練で前に進んでいかなければと再確認しました。

参加者は北海道から沖縄まで全国からで、今回も多くの方と出会えました。今後も教職員大会なども参加して更に良縁を深め、自分自身も成長し、子どもたちのためのよき指導者に少しでも近づけるようやっていきたいと思います。

多くの方々のおかげでこの研修会に参加することができ大変感謝しております。今後も高体連をはじめ県連においても微力ながらがんばっていきたくと思いますので、よろしく願いいたします。